

暦の上では春を迎えましたが、もう少し寒い日が続きそうですね。空気も乾燥していて、インフルエンザなどの感染症にも引き続き注意が必要です。また、今年はずでにスギ花粉が飛び始めているとのこと。最近は子どもの花粉症も増えているようですので、気になる症状がある時は小児科や耳鼻咽喉科に相談してみましょう。



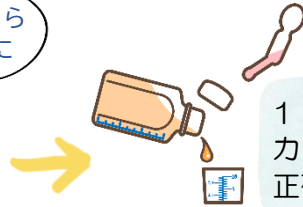
おくすりの上手な飲ませ方・使い方

2. シロップ薬編

激しく振らないように



飲ませる前に、容器を軽く振り中身を均一に混ぜます。



1 回分の量を添付のカップかスポイトで正確に量ります。

- カップで飲めない場合は、スポイトやスプーンで頬の内側に少しずつ流し込んでください。
- ミルクを飲むお子さまは、哺乳びんの乳首を使って飲ませても良いです。先に乳首だけを口にくわえさせて、吸い始めたらシロップを入れます。
- 飲み物に混ぜる時は、飲ませる直前に 1 回分だけを少量に混ぜて飲ませるようにしましょう。炭酸飲料やスポーツドリンク、果汁の多いジュースなどは、お薬の吸収や効果に影響を与えてしまうので、混ぜないようにしましょう。



細菌汚染に注意!

シロップ薬は糖分が入っているため、細菌に汚染されやすいお薬です。

- 容器の口やスポイトの先は直接手で触らないでください。
- 冷蔵庫に保存しても長くは保存できないため、残ってしまった場合は取っておかずに捨てましょう。



3. 目薬編

- 点眼薬は 1 回に 1 滴で十分です。2 種類以上の目薬をさす場合は、必ず 5 分以上間隔を空けてください。
- 一度開封した目薬は、1 ヶ月位しか保存できないので注意しましょう。
- 涙で目薬が流れるので、泣いている最中は避けましょう。



1ヶ月

目を開けるのが怖いお子さまには・・・

- 清潔な布などで目のまわりを拭いてから、目を閉じ目頭付近に点眼し、そっと目を開きます。
- 寝ている間に点眼するのもオススメです。

目薬をさすときに、大人が緊張して険しい顔をしていると、子どもが怖がってしまいます。目薬をさすときは、笑顔で声かけしましょう。



お腹のあたりに子どもの頭を置いて、両足で軽く手と腰、足を挟み、頭を押さえて点眼します。

怖がらせないように優しく声をかけながら



先月の利用状況

合計 26 名

利用疾患(症状)

- インフルエンザ A 型
- 胃腸炎
- 中耳炎

2月の相談窓口のご案内

8日(土)
22日(土)

施設見学や事前登録も
行っています。
お気軽にご利用ください♪

- ① 9:00~
 - ② 9:45~
 - ③ 10:30~
 - ④ 11:15~
- 各回1家族のご案内です。

病児保育室「みどりっこ」

☎042-713-3745

[受付時間] 平日 8:00~17:30

詳しくはみどりっこ
ホームページへ

